

知っていますか？

かつて呉市に全国で「アリ地獄の堀！」といわれ、国体へ広島県代表として昭和42年45歳から56年まで15年間に14回出場！ 昭和48年の第27回中国庭球選手権壮年の部ダブルスでは5連勝、シングルスでも6回優勝した選手がいたことを！

その人の名は呉市中通り出身の「堀 蓉一郎選手」です。

堀 蓉一郎選手は1922（大正11）年生れ、2012年90歳で亡くなるまでコートに立たれました。一中（現 呉三津田高校）時代に軟式テニスを始められました。すっかりその魅力に取りつかれた堀さんは海軍のパイロットとして偵察機に搭乗しニューギニアやフィリピンで奮闘されましたが、その間も米軍の残したテニスコートでラケットを振り続けたそうです。

1947（昭和22）年九死に一生を得て帰国、しかし当時はテニスどころではなく再びラケットを握ったのは昭和29年、それからは水を得た魚のようにいきいきと白球を追い呉庭球選手権のタイトルを3度獲得、そのころ呉ではまだ珍しかった硬式テニスもはじめ昭和39年には硬式・軟式ともに優勝されました。

堀さん

（呉や県内外のテニスの選手はみんな堀さんの人柄に親愛を込めてこう呼びました。）は軟式テニス時代のウエスタングリップをそのまま使い、本格的なグリップの選手を次々と破り、都市対抗の広島県予選でも広島市のチームをウエスタングリップばかりの呉のチームを率いて優勝し、全国大会へ何度も出場しました。山口県であった試合に一般男子のシングルス、ダブルス、壮年のシングルスにも「掛け持ち」で出場し、1日に9試合もこなしたこともあるそうです。まさに鉄人そのものでした。

「呉テニス同好会」という名のクラブを作り、他の都市から呉へ移ってきた選手にも気軽にテニスのできる環境を提供し、また雨の日以外は毎日、コートに立ってご自分の練習も兼ねて呉の若手を鍛えました。

昭和40年代頃からはご自分の会社内に「呉市テニス協会」の事務局を置き、呉市のテニスの発展に多大な貢献をされました。広島市や東広島市の選手も競って呉の大会へ出場し、堀さんの薫陶を受け多くの選手が国体や全日本選手権大会へ出場しました。

平成5年テニスの普及発展に貢献したことを讃え呉市教育委員会から表彰されました。

(第3種郵便物認可)

第27回中国庭球選手権大会
年の部ダブルスに5連勝した

堀 蓉 一 郎 さん (呉市)

「アリ地獄の堀」といわれ、余日本、両体はいうに及ばず、ほとんどのビッグゲームに毎年出場し奮闘している堀蓉一郎さん(五二)呉市中通二丁目五ノ九は、さきごろ行われた第二十七回中国庭球選手権大会の部ダブルスで5連勝を飾った。同大会ではシングルでもかつて3連勝しており、中国広しといえども、この人の右に出る者はいない。文字通り庭球界の第一人者である。また雨の日以外は練習を休んだことのない、まさに「テニスの虫」である。

「テニスほど自分の性に合ったスポーツはないです。やったあと、たよといかにも懐かしそうに笑いのそわな感じは、やった者でないながら話す。いとわかりませぬね」とニコニコ。このテニスのことなる話、やめてしまい、二十九年までテニスにも全然熱がこもってこぬ。「早から考えたら信じられないくらいのもので、ラケットを握ってからも四十一年近いですから...」このうらぬ堀さんが初めてテニスをしたのは真一中時代。初めは軟式から始めた。すっかりテニスにとりつかれた堀さんは、十九年フイリイトルを三度獲得。だが、軟庭界にいたときでも、ラケットを離さなかったという。「近くに來るが硬式に転向した。三十一年のテニスコートがありまして九年には硬軟ともに制覇した。

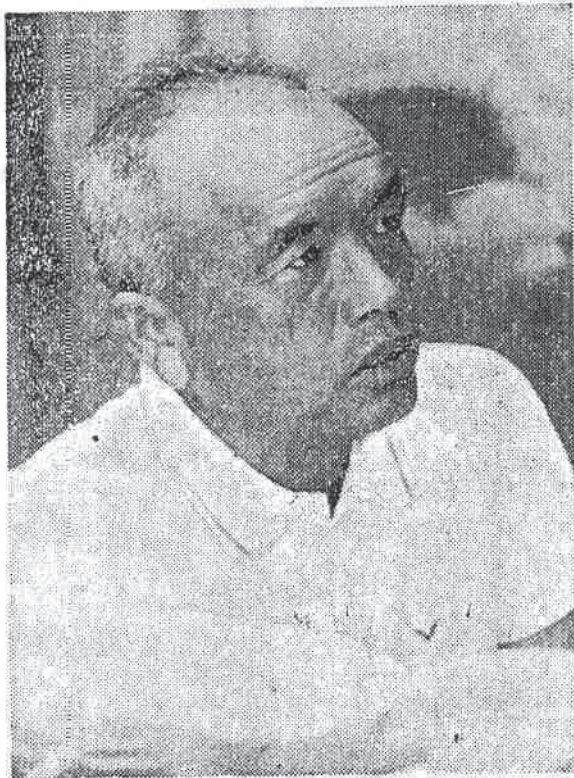
その名も高き、アリ地獄の堀

毎朝3^キのロードワーク

全く感じさせぬ年齢

夢は全日本タイトル獲得

いろいろな技術的の問題があるという。だが、堀さんはすんなり転事も肉や野菜を多く取るようにし向、成功した。「フォームに重点があるといわれるんですが私はそ



「テニスは私に最も合ったスポーツです。すべてを忘れて打ち込む。いいですねえ」と語る堀さん

のままウエスタングリップでいきなりました。結構いけますよ。かえるところからやらんといけませんし、それでも違うことはいろあるよ。ゲーム時間が長くなるため、体力が必要になる。「まずスタミナをつけるために走りま

「テニスは私に最も合ったスポーツです。すべてを忘れて打ち込む。いいですねえ」と語る堀さん。現在、多忙な社長業のかたわら、毎日近くのコートに出向き、硬式テニス同好会の面々と三時余り汗を流すという。「雨が降っても降らない暇もありません。いい仲間がいるということは、私は恵まれているよ。だから、顔は真つ

てくる。だからフォームが大切に、基本に忠実でないと上達しません。第一ボールに威力がないですよ。それだからこそ目録の練習がものをいうんです。正直者がバカを見ることのないですよ。話にも次第に熱がこもってくる。「ボールを打つときの感じ、テニスのダイゴ味は、やはり硬式でな

「テニスは私に最も合ったスポーツです。すべてを忘れて打ち込む。いいですねえ」と語る堀さん。呉庭球連盟理事で昨年六月からは、呉商専のコーチも引き受けるなど庭球界発展と後進の指導育成にも尽力している。また現役のバリバリだ。昨年は全日本社年ダブルスで岩田新太郎さん(岐阜)と組み、準決勝まで進出した。「六十歳くらいまで体力は多少衰えても、技術は伸びますね」と話す堀さんは大きな目標を持っている。「一度全日本のタイトルを取りたいね。それもシングルです。」柔らかな顔が一瞬引き締まり、目が鋭くキラリと光った。

“内乱”乗り越えて

堀・川本組が5連勝

中国庭球
壮年ダブルス

第二十七回中国庭球選手権大会
(11月13日・広島市中央コート)
壮年ダブルスで堀・川本組(奥久・田頭タイル)が、太田・津島ペア(岡山)を5-0、6-4、6-3で破り、五連勝を飾った。団体予選の前しょう戦でもあり、岡山勢には必ず勝つ一の執念が結実した。

川本洋さん(五)は、昨年、一昨年、大阪国際クラブの乾さんと組んで、全日本選手権二連勝の腕前。一方、堀容一郎さん(五)は「アリ地獄の堀」として有名。ジワジワと攻める堀さんにかかっては、はい出すことが出来ない一で聞かされている。

第一セット5-0で失ってから川本さん得意の「口」が出始めた。「同じミスをするから、わしがいうんじゃ」「勝たんでもええんなら、やいやいや言やせん」。じことがまんの堀さんは「ほっかい

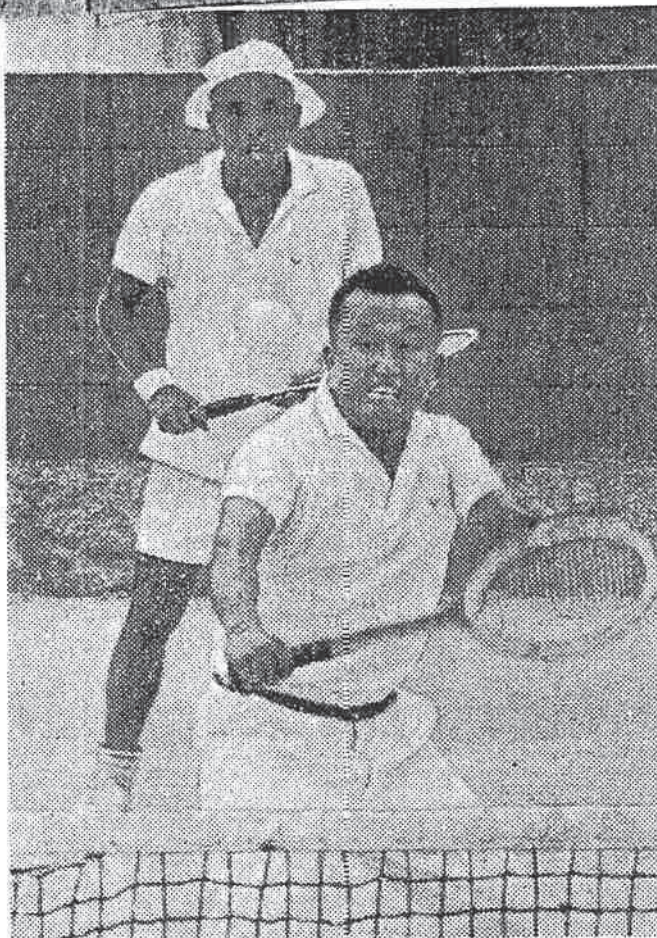
の。ようわかてはいるが、腕がいうことをきかんのじゃ」。この両者、コンビを組んで五年。仲のよき、勝負に対する熱心さから毎度こんな調子になる。

「内乱」もどきなきを得て、1-1。ファイナルセットは「だまこやることにした」(川本さん)の、またぞろちよろり、ちよろり。結局6-3で太田組を下し、名コンビの五連勝が決まった。川本さんが堀さんの両手をがっちり握った。

前、ストレートで勝たんとあぶないと話し合っていたので、あせりました「真っ黒に日焼けした両人の顔から大粒の汗が落ちていた。休み間もなく、川本さんは、甲子園の高校野球に出ている息子、幸生君(広島商二塁手)の応援行きに大忙し。堀さんが「がんばってのう」と肩をたたいていた。

てくる。だからフォームが大切に思に日焼けし、ツヤなり、基本に忠実でないと上達しません。第一ボールに威力がないですよ。それだからこそ目ごろの練習がものをいいます。正直者がバカを見ることはないですよ」話にも次第に熱がこもってくる。

「ボールを打つときの感じ、テニスめのは小言もいってましたが、もう



壮年ダブルスで五連勝した川本さん(手前)と堀さん

パートナーの川本さんは広島野球部の選手・監督。

NHKの解説者として有名な川本氏の父親です。

平成5年度

第47回 中国テニス選手権大会

掘さんは中国選手権でシングルス6回優勝

ダブルス5回優勝されました。すごい記録です。

★ 歴代優勝者リストより抜粋
(オールジャパン)

歴代優勝者

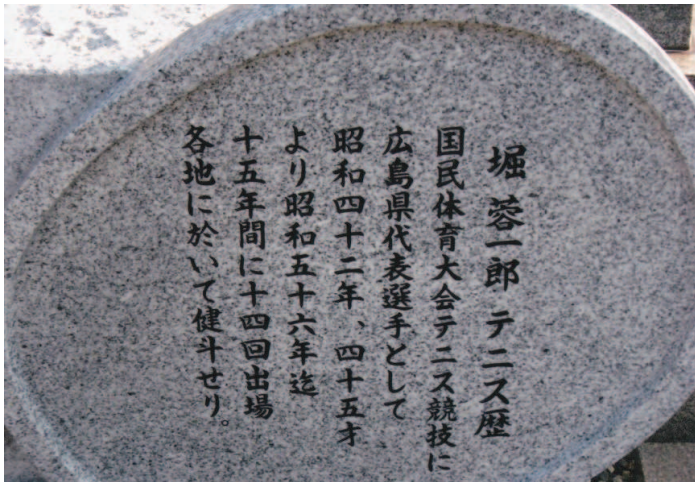
準優勝者

★ベテランダブルス

第1回 (S. 32)	庄野・深尾 (門 鉄 局)	6-0 6-0	堀島・河野 (山 川 工 業)
第2回 (S. 33)	大橋・木本 (大橋工業・広島工)	5-7 6-2	森田・大杉 (三井石油)
第3回 (S. 34)	赤木・浅野 (岡 山 工 業)	6-2 6-2	太田黒・梅田 (広島県庁)
第4回 (S. 35)	大橋・太田黒 (大橋工業・広島工)	6-3 6-4	木本・中 (西日本スポーツ)
第5回 (S. 36)	赤木・茂成 (岡 山 工 業)	7-5 6-2	田中・水津 (宇品中教 日野ジゼル)
第6回 (S. 37)	茂成・藤原 (岡 山 工 業)	4-3 6-4	林・杉原 (岡 山 工 業)
第7回 (S. 38)	田中・太田黒 (中教中教・広島工)	7-5 6-4	茂成・巾下 (岡山工・広鉄)
第8回 (S. 39)	大橋・茂成 (大橋工業・岡山工)	6-0 6-0	杉原・岡田 (岡 山 工 業)
第9回 (S. 40)	茂成・佐々木 (岡 山 工 業)	4-6 6-1	桐原・久保 (広島女商教・広島工)
第10回 (S. 41)	茂成・佐々木 (岡 山 工 業)	6-0 6-0	大杉・桐原 (広島製紙・広島女商教)
第11回 (S. 42)	茂成・佐々木 (岡 山 工 業)	6-4 6-1	赤木・藤原 (岡 山 工 業)
第12回 (S. 43)	奥村・猪野 (松山工・今治工)	8-6 6-1	鈴川・茂成 (岡 山 工 業)
第13回 (S. 44)	堀・川本 (呉工・田頭タイル)	DEF	津田・平田 (神戸工・造船局)
第14回 (S. 45)	堀・川本 (呉工・田頭タイル)	6-3 6-2	鈴川・藤原 (岡 山 工 業)
第15回 (S. 46)	堀・川本 (呉工・田頭タイル)	6-0 6-0	井上・陣内 (大阪しののめ工)
第16回 (S. 47)	堀・川本 (呉工・田頭タイル)	6-3 6-1	谷口・井上 (甲子園工)
第17回 (S. 48)	堀・川本 (呉工・田頭タイル)	6-6 6-6	太田・津島 (岡 山 工 業)
第18回 (S. 49)	太田・佐々木 (岡 山 工 業)	6-1 6-1	関・白木 (東松江高・大阪ガス)
第19回 (S. 50)	太田・佐々木 (岡 山 工 業)	6-1 6-3	川本・乾 (田頭タイル 大阪国際工)
第20回 (S. 51)	太田・長江 (岡 山 工 業)	5-6 6-3	豊福・藤原 (三菱化成・岡山工)
第21回 (S. 52)	太田・長江 (岡 山 工 業)	6-2 6-1	佐々木・豊福 (岡山工・三菱化成)
第22回 (S. 53)	川本・宮村 (田頭タイル・神戸工)	6-3 3-6 6-3	長江・豊福 (岡山工・三菱化成)
第23回 (S. 54)	石川・中村 (船木工・小倉工)	5-7 6-4	堀・林 (呉工・造船局)
第24回 (S. 55)	長江・太田 (岡 山 工 業)	5-7 7-6 6-3	堀・林 (呉工・造船局)

★ベテランシングルス★

第1回 (S. 32)	庄野 直久 (門 鉄 局)	6-3 6-0	深尾 峰雄 (門 鉄 局)
第2回 (S. 33)	梅田 太史 (広島県庁)	6-4 6-3	大橋 亀吉 (大橋工業)
第3回 (S. 34)	久利 清彦 (人岩国)	6-6 8-6	大橋 亀吉 (大橋工業)
第4回 (S. 35)	田中 康生 (宇品中教)	6-0 6-0	浅野 節士 (岡 山 工 業)
第5回 (S. 36)	田中 康生 (宇品中教)	6-2 6-1	茂成栄太郎 (岡 山 工 業)
第6回 (S. 37)	田中 康生 (宇品中教)	6-3 6-1	茂成栄太郎 (岡 山 工 業)
第7回 (S. 38)	田中 康生 (宇品中教)	6-1 6-1	茂成栄太郎 (岡 山 工 業)
第8回 (S. 39)	茂成栄太郎 (岡 山 工 業)	6-1 6-0	杉原 正毅 (岡 山 工 業)
第9回 (S. 40)	桐原 嘉男 (広島女商教)	DEF	堀 蓉一郎 (呉)
第10回 (S. 41)	佐々木一郎 (岡 山 工 業)	5-5 DEF	茂成栄太郎 (岡 山 工 業)
第11回 (S. 42)	堀 蓉一郎 (呉)	6-1 6-0	佐々木一郎 (岡 山 工 業)
第12回 (S. 43)	陣内祥一郎 (大阪しののめ工)	9-1 6-2	堀 蓉一郎 (呉)
第13回 (S. 44)	堀 蓉一郎 (呉)	6-3 6-1	川本 洋 (田頭タイル)
第14回 (S. 45)	堀 蓉一郎 (呉)	6-2 6-1	川本 洋 (田頭タイル)
第15回 (S. 46)	堀 蓉一郎 (呉)	7-5 6-3	川本 洋 (田頭タイル)
第16回 (S. 47)	谷口 種三 (甲子園工)	6-4 4-6 6-3	堀 蓉一郎 (呉)
第17回 (S. 48)	谷口 種三 (甲子園工)	5-6 6-0 6-3	堀 蓉一郎 (呉)
第18回 (S. 49)	堀 蓉一郎 (呉)	DEF	佐々木一郎 (岡 山 工 業)
第19回 (S. 50)	堀 蓉一郎 (呉)	6-1 6-2	佐々木一郎 (岡 山 工 業)
第20回 (S. 51)	豊福 哲昭 (三菱化成)	6-3 DEF	長江 剛 (岡 山 工 業)
第21回 (S. 52)	豊福 哲昭 (三菱化成)	6-1 6-2	長江 剛 (岡 山 工 業)
第22回 (S. 53)	豊福 哲昭 (三菱化成)	6-3 7-6 6-2	堀 蓉一郎 (呉)



堀さんはご自分のお墓にあらかじめ ご活躍の記録を刻まれています



呉市教育委員会からも表彰されました



御祝いに駆けつけた面々



各地の大会、いつも堀さんが中心に



日新のコートで



工藤先生の苗代コートで



藤川選手の国体出場の激励に



堀田選手の国体出場祝賀会で

八十八歳
おめでとう
ございます
掘 蓉一郎さんへ
祝 米寿
いつまでも
長生き
してください

掘さんを囲む会一同



平成22年12月5日 於 : 呉中通り お取り寄せカフェ